

## 第 44 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会（部会③）

# 開催記録

### 1 開催概要

- 日 時：令和6年6月5日（水）10：00 ～ 12：00
- 場 所：TKP ガーデンシティ PREMIUM 品川高輪口 ホール3C
- 出席者：

表 出席者一覧

委員長	・ 谷川 章雄氏（早稲田大学名誉教授）
委員	・ 老川 慶喜氏（立教大学名誉教授）※オンライン参加 ・ 小野田 滋氏（鉄道総合技術研究所 アドバイザー） ・ 古関 潤一氏（東京大学名誉教授・ライト工業株式会社 R&D センター テクニカルオフィサー）
オブザーバー	・ 文化庁文化財第二課 史跡部門 ・ 港区教育委員会事務局 教育推進部 図書文化財課 ・ 港区 街づくり支援部 ・ 東京都 教育庁 地域教育支援部 管理課 ・ 鉄道博物館 学芸部 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 構造技術センター ・ 東日本旅客鉄道株式会社 グループ経営戦略本部 品川・大規模開発部門 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 建設工事部
事務局 東日本旅客鉄道(株)	・ 東日本旅客鉄道株式会社 グループ経営戦略本部 品川・大規模開発部門 ・ 東日本旅客鉄道株式会社 建設工事部
サポート	・ パシフィックコンサルタンツ株式会社

#### ■ 当日配布資料

##### 1) 議事録確認

- ・ 次第
- ・ 資料1：第43回委員会（5/8）部会②議事録案
- ・ 資料2：第43回委員会（5/8）部会③議事録案

##### 2) 部会③

- ・ 次第
- ・ 資料1：調査成果について
- ・ 資料2：仮橋脚部の遺構への影響低減について



## 2 議事要旨

---

### 2.1 議事録確認

#### (1) 開会

- 第 44 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会を開会する。(事務局)

#### (2) 議事録確認

##### 1) 第 43 回委員会 (5/8) 部会②の議事録確認

- 修正指摘なし。(委員一同)

##### 2) 第 43 回委員会 (5/8) 部会③の議事録確認

- 修正指摘なし。(委員一同)

### 2.2 部会③

#### (1) 開会

- 第 44 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会の部会③を開会する。(事務局)

#### (2) 調査成果について

- 資料 1 について説明する。(港区)

##### <説明概要>

- ボーリング調査の際に支障物に当たった地点について、円形ライナーでの調査を進めた結果、加工木が検出された。
- No.11 と No.12 で検出された加工木とは角度が違い、別々の個体である可能性が高いが、共に厚みが 34cm 程度であり、検出深さも T.P.-1.5m 付近であるため同じ種類の構造物と考えられる。
- 加工木①と②の間で部分的に角材が確認された。
- No.11、No.12 の加工木をもう少し調べないと、何の構造物か判断できない。直感的には建物の基礎、礎板や胴木などではないかと思うが、現状では判断できない。(委員長)
- かなり深い位置なので、薩摩台場を作る前にあったものではないか、とも考えられる。(小野田委員)
  - ← それは否定できない。海の中に位置するため、元々の屋敷の舟入に関連する構造物なのかもしれない。(港区)

→ そうすると、舟を漕ぎ着ける棧橋のようなものがあったのではないかと考えられる。(小野田委員)

- No.12 の加工木が検出された直上から土丹が検出されている。今後考察していく必要がある。(港区)
- アクセス線の掘削工事範囲だが、今後平面的な調査を行うことができるのか。(小野田委員)
  - ← 加工木の部分にも杭を打つものと認識しているが、まずは鋼管杭の施工を判断するための調査である。広がる方向も線路方向の直下の可能性が高いため、木を取り上げられるかどうかを含め、まだ港区として判断できていない。(港区)
  - ← 開削範囲なので、将来の開削工事の際に面的に調査できると考えている。(事務局)
- もう少し調査を進めて、全体像を確認することが必要だと考える。効率的な確認方法を考えたほうが良い。(委員長)

### (3) 仮橋脚部の遺構への影響低減について

- 資料2について説明する。(事務局)

<説明概要>

- 前回委員会報告で成形石が検出された箇所について、その石を避けて施工する方法を検討したので報告する。
  - KP28-3で検出された石に対しては、矩形ライナーの下部のサイズを変更することで、石を残置した状態で仮橋脚鋼管杭の施工が可能となった。
- この石は、舟入の階段に当たるものではないかと推測するものである。線路の下に潜り込んでいくことも想定されるため、取り上げることも難しい。そのため石を残置して施工できないか検討してもらった。報告の検討結果は大変良かったと思う。感謝する。(委員長)
- 仮橋脚鋼管杭の施工判断についてお聞きしたい。(事務局)
  - ← 加工木の箇所は、もう少し調査をして実態を把握しないと対応策が取れないので判断できない。それ以外の箇所はボーリング調査を実施して頂いており、結果がある程度まとまった段階で判断できると思う。石が検出された箇所は施工方法を変更して頂いており、本日の報告をもって施工可である。(委員長)
- 石が検出された箇所の鋼管杭施工を承認いただき感謝する。加工木の部分は悩ましいが、線路の間の狭隘なスペースしかなく、今後どうしていくか大きな課題と考えている。この木の形を残したまま取り上げることが出来るか、今後検討していきたいが、記録保存の方法を早急に判断いただきたいと考えている。(JR)
- 仮土留めの方はスケジュールが厳しくなってきている。ボーリング結果を踏まえて判断をお願いしたい。(JR)

- 引き続き調査と工事の進捗の両立を図り、協力していく。(JR)
- ボーリングについてはある程度まとまった段階で判断するという説明をしてきた。認識は同じなので、適切な調査を進めるなかで判断をしていきたい。(委員長)

#### (4) その他

<部会①・部会②・部会③終了後>

- 最後に文化財行政からコメントをもらう。
  - ← 部会③の加工木について、工事の進捗を踏まえた遺跡の調査方法の相談には積極的に応じていきたい。部会①の5・6街区の調査方法についても積極的に協力していきたい。(文化庁)
  - ← 部会①の確認調査について、7月頃から始めたいということだが、ホームページ公開スケジュールを教えてください。(東京都)
  - 確認調査は本日この場で承認いただいたと思っている。次回の検討委員会において議事録が確定するので、準備出来次第ホームページで公開したい。公開後に現地調査に入る流れで進める。(JR)
  - ← 部会①の確認調査について、7月頃に着手ということだが、議事録公開後に注目されることが想定される。現場が動くと開発が始まるという認識の質問も来ると思う。取材等への対応も含めて情報共有など、しっかり連携していきたい。(港区)

#### (5) 閉会

- 次回委員会は7月3日(水)10時00分から、会場はTKP ガーデンシティ PREMIUM 品川高輪口となる。次回の委員会開催時間前に品川駅付近にて現地の調査状況の視察が予定されており、港区から改めて案内がある。本日はこれで閉会とする。(事務局)

### 3 議事録

---

#### 3.1 議事録確認

##### (1) 開会

- (事務局) 第 44 回 高輪築堤調査・保存等検討委員会を開会する。
- ・ 挨拶
  - ・ 資料確認
  - ・ オンラインの案内
  - ・ 次第説明

##### (2) 議事録確認

- (事務局) 2つの議事録について修正等の指摘はあるか。修正等があれば委員会終了までに連絡をいただきたい。
- (事務局) 意見がなければ、議事録確認を終了する。

#### 3.2 部会③

##### (1) 開会

- (委員長) 次第に沿って進める。

##### (2) 調査成果について

- (港区) 資料1について説明する。KP27-2のボーリング調査の際に支障物に当たった箇所について、矩形ライナーから円形ライナーに変更して調査を実施したところ、加工木が検出された。当初 No.11 と No.12 で検出された加工木と同一だと思っていたが、観察すると角度が違い、木目も揃っていないとみられ、別々の個体である可能性が高いと考えている。ただし共に厚みが 34cm 程度であり、検出深さも T.P.-1.5m 付近であるため同じ種類の構造物と考えられる。また、加工木①と②の間で部分的に 5cm 角ほどの角材が確認されている。No.10、11 で同様の高さから検出された角材と同じようなものなので、何かしら関係性のある遺物であると考えている。参考までに、それ以外の瓦等の検出遺物も写真4に示すが、いずれも概ね 18 世紀後期～19 世紀中期のものと考えている。
- (委員長) 厚みが 34cm のしっかりとした加工木であるが、No.11、No.12 の加工木をもう少し調べないと何の構造物か判断できない。直感的には建物の基礎、礎板や胴木などではないかと思うが、現状では判断でき

- ない。範囲などを確認する必要がある。
- (小野田委員) 杭の上に加工木が乗っているのか。
- (港区) その通りである。加工木②の下に杭が刺さっている。
- (小野田委員) かなり深い位置なので、薩摩台場を作る前からあったものとも考えられるのではないか。
- (港区) それは否定できない。検出された箇所は南側には、元々の屋敷の舟入があったとみられ海の中に位置するため、そうしたものに関連する構造物なのかもしれない。
- (小野田委員) そうすると、舟を漕ぎ着ける栈橋のようなものがあったのではないかと考えられる。
- (港区) No.12 の加工木が検出された直上から土丹が検出されている。今後考察していく必要がある。
- (小野田委員) 今回の箇所はアクセス線の工事掘削範囲であるが、今後掘削に入るにあたり、平面的な調査を行うことが出来るのか。
- (港区) 加工木の部分にも杭を打つものと認識しているが、まずは鋼管杭の施工を判断するための調査である。広がる方向も線路方向の直下の可能性が高いため、木を取り上げられるかどうかを含め、まだ港区として判断できていない。
- (事務局) 今回の箇所は開削範囲であり、将来の開削工事の際に面的に調査することが出来ると考えている。
- (委員長) 今回の箇所に関してはもう少し調査を進めて、全体像を確認することが必要だと考える。効率的な確認方法を考えた方が良い。
- (委員長) 他に何かなければ、次に進める。

### (3) 仮橋脚部の遺構への影響低減について

- (事務局) 資料 2 について説明する。前回委員会報告で成形石が検出された箇所について、その石を避けて施工する方法を検討した結果を報告する。成形石はライナープレートの端から検出され、平面図でいうと、東海道線と京浜東北線の間である。この場所では最初に仮橋脚鋼管杭を打設し、その後、かんざし受桁を乗せ、その上にかんざし桁を乗せて、最後に線路方向に桁を流す工程である。今回検出された成形石に対して影響回避を検討した結果、矩形ライナーの下部のサイズを変更することで、石を残置した状態で仮橋脚鋼管杭の施工が可能になった。なお、残置した石については、工事桁および仮土留め施工後の開削において露わにすることが可能な見込みである。
- (委員長) この石は舟入の階段に当たるものではないかと推測するものである。線路の下に潜り込んでいくことも想定されるため、取り上げることも難しい。そのため JR に石を残置して施工できないか検討してもらった。報告の検討結果は大変良かったと思う。改めて感謝申し上げます。

- (委員長) 質問、意見はあるか。
- (事務局) 仮橋脚鋼管杭の施工判断についてお聞きしたい。
- (委員長) 加工木の箇所は、もう少し調査をして実態を把握しないと対応策が取れないので判断できない。それ以外の箇所についてはボーリング調査を実施して頂いており、結果がある程度まとまった段階で判断できると思う。石が検出された箇所は施工方法を変更して頂いており、本日の報告をもって施工可である。
- (JR) 石が検出された箇所の鋼管杭施工を承認いただき感謝申し上げます。港区におかれては調査、報告をいただき感謝申し上げます。加工木の箇所は悩ましいが、線路と線路の狭隘なスペースしかなく、今後どうしていくか大きな課題と考えている。工事桁や仮土留めの関係で、この場所でしか杭を打つことができない。この木の形を残したまま取り上げることが出来るか、今後検討していきたいが、記録保存の方法を早急にご判断いただきたいと考えている。仮土留めの方は、スケジュールが厳しくなってきている。来週からボーリングを進めていくが、調査結果を踏まえ判断をお願いしたい。引き続き調査と工事の進捗の両立を図り、協力をしていきたい。
- (委員長) 認識は同じである。ボーリングについてはある程度まとまった段階で判断するという説明をしてきた。今後、適切な調査をしていくなかで判断をしていきたい。
- (委員長) 他に何かなければ、次に進める。

#### (4) その他

- (委員長) その他、何かあるか。
- (委員長) 特になければ部会③を閉会する。

#### <部会①・部会②・部会③終了後>

- (委員長) 最後に文化財行政からコメントをもらう。
- (文化庁) 部会③の加工木について、工事の進捗を踏まえた遺跡の調査方法の相談には積極的に応じていきたい。部会①の5・6街区の調査方法についても積極的に協力していきたい。
- (東京都) 部会①の確認調査について、7月頃から始めたいということだが、ホームページでの公開スケジュールを教えてください。
- (JR) 確認調査は本日この場で承認いただいたと思っている。次回の検討委員会において議事録が確定するので準備出来次第、ホームページで公開したい。公開後に現地調査に入る流れで進める。
- (港区) 部会①の確認調査について、7月頃着手ということだが、議事録公開後に注目されることが想定される。現場が動くと開発が始まるという認識の質問も来ると思う。取材等への対応も含めて情報共有など、し

っかり連携していきたい。

## (5) 閉会

(事務局)

次回の定例委員会は、7月3日(水)10時00分から、会場はTKPガーデンシティ PREMIUM 品川高輪口となる。次回の委員会開催時間の前に品川駅にて現地調査状況の視察が予定されている。こちらは改めて港区から案内がある。本日はお忙しい中貴重なご意見をありがとうございました。閉会とする。

以上